

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第4項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成21年5月20日
【四半期会計期間】	第29期第1四半期（自平成20年4月1日至平成20年6月30日）
【会社名】	株式会社フォーバル
【英訳名】	FORVAL CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役会長兼社長 大久保 秀夫
【本店の所在の場所】	東京都渋谷区神宮前五丁目52番2号
【電話番号】	03（3498）1541（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【最寄りの連絡場所】	東京都江東区佐賀一丁目1番3号
【電話番号】	03（6826）8881
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 加藤 康二
【縦覧に供する場所】	株式会社ジャスダック証券取引所 （東京都中央区日本橋茅場町一丁目5番8号）

1【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

複数の当社社員による過年度にわたる商品等の不正流用が判明したため、当該内容につき調査した結果、売上原価及び販売費及び一般管理費の過大計上が判明いたしましたので連結財務諸表及び財務諸表の記載内容の見直しを行いました。

その結果、当第1四半期連結累計（会計）期間の四半期連結損益計算書においては、売上原価8,947千円の減少、営業外費用9,395千円の増加により税金等調整前当四半期純損益が447千円、当四半期純損益が447千円それぞれ減少しました。四半期連結貸借対照表においては、未払消費税が447千円増加しました。

これらを訂正するため、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

四半期連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

なお、訂正後の当第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表につきましては、監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、その四半期レビュー報告書を添付しております。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第1 企業の概況

1 主要な経営指標等の推移

第2 事業の状況

3 財政状態及び経営成績の分析

(1) 経営成績の分析

(2) 財政状態の分析

(3) キャッシュ・フローの状況

第5 経理の状況

2 監査証明について

1 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(2) 四半期連結損益計算書

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

注記事項

(セグメント情報)

事業の種類別セグメント情報

(1株当たり情報)

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

(訂正後)

回次	第29期 第1四半期 連結累計 (会計)期間	第28期
会計期間	自平成20年 4月1日 至平成20年 6月30日	自平成19年 4月1日 至平成20年 3月31日
売上高(百万円)	8,884	34,323
経常損失()(百万円)	40	<u>1,264</u>
四半期純利益又は当期純損失 ()(百万円)	4	<u>532</u>
純資産額(百万円)	<u>7,055</u>	<u>7,178</u>
総資産額(百万円)	17,322	17,890
1株当たり純資産額(円)	<u>473.09</u>	<u>481.98</u>
1株当たり四半期純利益金額又は 当期純損失金額()(円)	<u>0.32</u>	<u>38.66</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-
自己資本比率(%)	37.6	37.1
営業活動による キャッシュ・フロー(百万円)	565	321
投資活動による キャッシュ・フロー(百万円)	249	367
財務活動による キャッシュ・フロー(百万円)	393	1,152
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高(百万円)	2,476	2,554
従業員数(人)	1,104	987

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、第29期第1四半期連結累計(会計)期間は希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、第28期は1株当たり当期純損失が計上されているため記載しておりません。

第2【事業の状況】

3【財政状態及び経営成績の分析】

(1) 経営成績の分析

(訂正後)

(前略)

なお、当第1四半期連結会計期間における連結業績は、2007年7月に子会社化した株式会社リンクアップの携帯販売事業の寄与や、商業印刷物の企画・編集・製作を営むタクトシステム株式会社を2008年4月に子会社化したこと等により、連結売上高は8,884百万円（前年同期比35.8%増）となりました。

利益の面では、売上総利益が前年同期比で234百万円増加したのに加え、販売費及び一般管理費が62百万円減少したことにより、営業損失は23百万円（前年同期は319百万円の損失）、経常損失は40百万円（前年同期は395百万円の損失）と大幅に改善し、投資有価証券の売却による特別利益を計上したことにより四半期純利益は4百万円（前年同期比96.4%減）となりました。なお、当企業集団の中核会社である株式会社フォーバルの当四半期業績は以下のようになっており、営業利益、経常利益は大幅に改善しております。

営業利益28百万円（前年同期は225百万円の損失）

経常利益99百万円（前年同期は96百万円の損失）

四半期純利益173百万円（前年同期は410百万円の利益）

(後略)

(2) 財政状態の分析

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ567百万円減少し17,322百万円となりました。

主な内容は、受取手形及び売掛金が減少したことを主因に流動資産が前連結会計年度末に比べ1,080百万円減少し、のれんの増加を主因に固定資産が前連結会計年度末に比べ513百万円増加しました。

流動負債は支払手形及び買掛金が減少したことを主因に前連結会計年度末に比べ670百万円減少する一方で、固定負債は前連結会計年度末に比べ225百万円増加しております。

また、純資産は主に配当に伴う利益剰余金の減少により前連結会計年度末に比べ122百万円減少し7,055百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

(訂正後)

(前略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は565百万円でした。これは主に、売上債権の減少額845百万円、棚卸資産の減少額121百万円、税金等調整前四半期純利益43百万円及び減価償却費125百万円等の増加要因に対して、仕入債務の減少額868百万円等の減少要因によるものです。

(後略)

第5【経理の状況】

2. 監査証明について

(訂正後)

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

なお、金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき、当第1四半期連結累計期間(平成20年4月1日から平成20年6月30日まで)に係る四半期報告書の訂正報告書を提出しておりますが、訂正後の四半期連結財務諸表について、監査法人トーマツにより四半期レビューを受けており、改めて四半期レビュー報告書を受領しております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(訂正後)

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,519,544	2,573,110
受取手形及び売掛金	4,087,082	4,666,768
商品	289,787	398,454
半製品	60	217
原材料	14,266	13,159
仕掛品	44,027	8,148
その他	1,661,268	2,050,549
貸倒引当金	52,681	66,343
流動資産合計	8,563,356	9,644,064
固定資産		
有形固定資産	1 1,226,299	1 1,179,436
無形固定資産		
のれん	1,389,464	1,044,590
その他	1,319,276	1,374,571
無形固定資産合計	2,708,741	2,419,162
投資その他の資産		
投資有価証券	2 3,536,978	2 3,426,601
その他	1,605,272	1,563,865
貸倒引当金	263,319	252,668
投資損失引当金	54,466	89,966
投資その他の資産合計	4,824,466	4,647,832
固定資産合計	8,759,506	8,246,431
繰延資産	61	66
資産合計	17,322,924	17,890,562

当第1四半期連結会計期間末
(平成20年6月30日)

前連結会計年度末に係る
要約連結貸借対照表
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,286,070	4,088,974
短期借入金	2,926,458	2,838,475
未払法人税等	22,252	88,527
役員賞与引当金	3,000	14,000
その他	<u>2,259,621</u>	<u>2,138,292</u>
流動負債合計	<u>8,497,403</u>	<u>9,168,270</u>
固定負債		
長期借入金	270,522	184,886
退職給付引当金	1,199,073	1,201,388
その他	300,370	157,931
固定負債合計	1,769,965	1,544,206
負債合計	<u>10,267,368</u>	<u>10,712,476</u>
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,150,294	4,150,294
資本剰余金	4,014,294	4,014,294
利益剰余金	<u>2,741,584</u>	<u>2,573,963</u>
自己株式	62,370	62,352
株主資本合計	<u>5,360,634</u>	<u>5,528,274</u>
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,090,129	1,043,227
為替換算調整勘定	60,967	62,681
評価・換算差額等合計	1,151,097	1,105,908
少数株主持分	543,824	543,903
純資産合計	<u>7,055,556</u>	<u>7,178,086</u>
負債純資産合計	17,322,924	17,890,562

(2) 【四半期連結損益計算書】

第1四半期連結累計期間

(訂正後)

(単位 : 千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

売上高	8,884,513
売上原価	<u>6,640,802</u>
売上総利益	<u>2,243,711</u>
販売費及び一般管理費	2,267,047
営業損失 ()	<u>23,335</u>
営業外収益	
受取利息	2,604
受取配当金	6,795
その他	9,179
営業外収益合計	18,580
営業外費用	
支払利息	16,493
持分法による投資損失	3,235
不正流用損失	<u>8,947</u>
その他	<u>7,078</u>
営業外費用合計	<u>35,754</u>
経常損失 ()	<u>40,509</u>
特別利益	
投資有価証券売却益	81,175
その他	10,614
特別利益合計	91,789
特別損失	
固定資産除売却損	2,286
投資有価証券売却損	2,258
投資有価証券評価損	5
その他	2,965
特別損失合計	7,515
税金等調整前四半期純利益	<u>43,764</u>
法人税、住民税及び事業税	9,640
法人税等調整額	5,494
法人税等合計	15,134
少数株主利益	24,196
四半期純利益	<u>4,434</u>

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】
(訂正後)

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間
(自 平成20年4月1日
至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益	43,764
減価償却費	125,947
のれん償却額	43,355
貸倒引当金の増減額 (は減少)	1,332
退職給付引当金の増減額 (は減少)	2,315
受取利息及び受取配当金	9,400
支払利息	16,493
持分法による投資損益 (は益)	3,235
投資有価証券売却損益 (は益)	78,917
固定資産除売却損益 (は益)	2,286
売上債権の増減額 (は増加)	845,272
たな卸資産の増減額 (は増加)	121,727
仕入債務の増減額 (は減少)	868,458
その他	404,883
小計	646,541
利息及び配当金の受取額	14,965
利息の支払額	15,567
法人税等の支払額	80,625
営業活動によるキャッシュ・フロー	565,313
(後略)	

【注記事項】

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

(訂正後)

	機器関連事業 (千円)	ネットワーク 関連事業 (千円)	計(千円)	消去又は全社 (千円)	連結(千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	2,473,805	6,410,708	8,884,513	-	8,884,513
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	57,133	40,360	97,494	97,494	-
計	2,530,939	6,451,068	8,982,007	97,494	8,884,513
営業利益又は営業損失()	<u>52,300</u>	<u>75,636</u>	<u>23,335</u>	-	<u>23,335</u>

(後略)

(1株当たり情報)

1. 1株当たり純資産額

(訂正後)

当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末 (平成20年3月31日)
1株当たり純資産額 <u>473.09円</u>	1株当たり純資産額 <u>481.98円</u>

2. 1株当たり四半期純利益金額等

(訂正後)

当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額 <u>0.32円</u>
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注) 1株当たり四半期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	
四半期純利益(千円)	<u>4,434</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	-
普通株式に係る四半期純利益(千円)	<u>4,434</u>
期中平均株式数(千株)	13,764
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成21年5月18日

株式会社フォーバル
取締役会 御中

監査法人トーマツ

指定社員
業務執行社員 公認会計士 高橋正伸印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 東 葎 新 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社フォーバルの平成20年4月1日から平成21年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結累計期間（平成20年4月1日から平成20年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書及び四半期連結キャッシュ・フロー計算書について四半期レビューを行った。この四半期連結財務諸表の作成責任は経営者にあり、当監査法人の責任は独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューは、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析の手続その他の四半期レビュー手続により行われており、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べ限定された手続により行われた。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社フォーバル及び連結子会社の平成20年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

追記情報

「第5経理の状況 2. 監査証明について」に記載されているとおり、会社は金融商品取引法第24条の4の7第4項の規定に基づき四半期連結財務諸表を訂正している。当監査法人は訂正後の四半期連結財務諸表について四半期レビューを行った。

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。